

# 2024年 小学生地球市民会議 (実施計画)

2024年6月10日 更新  
NPO 法人 スプラタルカ

## 趣 旨

本会議を通して、参加国の小学生が相互に自由に意見を交換し、また、お互いの歴史や文化や習慣についての理解を深めることで、国を越えた相互理解や同世代の連帯を図る。さらに、このような活動を通して、ボランティアスタッフとしての参加も含め、リーダーの育成を促す。

## 地球市民会議 詳細

### 会議の運営

主催：NPO 法人 スプラタルカ

### 開催期日

2024年6月30日（日）

日本時間 14:00 – 16:00

マレーシア 13:00 – 15:00

スリランカ 10:30 – 12:30

会議参加者（3カ国） \* 各国の希望者10名～40名程度 \* 小学5・6年生相当

- ① 日本（沖縄）： 沖縄在住の小学生
- ② マレーシア（ペナン）： Taman Merak 小学校 児童  
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100057352363773>
- ③ スリランカ（Rathnapura）： Rathnapura 在住の小学生

### 会議内容 テーマ：

「教えて！あなたの暮らし」 - 宗教と生活の関わりを知ろう -

"Tell us about your daily life!"

- Let's see the relationship between religion and life. -

我々の生活に深く関わっている伝統やお祭りや行事が、実は宗教的な意味や歴史を含んでいるものがたくさんあります。

そのような、日常の暮らしにある行事をお互いに紹介し合いながら、そこに含まれる宗教的意味も伝えることで、お互いのより深い相互理解を進めたいと考えています。

例えば、沖縄のエイサーや、正月の三社参りなど、実は身近にたくさん見つける

ことが出来ます。

## 会 場

日 本： 読谷村文化センター  
マレーシア： 学校内  
スリランカ： 施設内

参加費 無料

## 会議形式

- ビデオ通話を使った同時中継（大型スクリーンに映す）。
- 会場を解放し、保護者や見学者は会議を自由に見学できる。（日本側）

## 国際会議のプログラム構成

\* 日本時間

場面	時間	会議の流れ	会議の詳細
あいさつ	14:00-14:02 (2分)	Ice Break! <参加者全員>	参加者の緊張をほぐす。 ● 各国のことばで一緒にあいさつを行う。 *全員で復唱する。
学校紹介	14:03-14:15 (9分 各3分×3)	学校の紹介 (日本、マレーシア、スリランカの順) <各国担当者>	各学校の紹介を行う。 ● 発表担当者(分担可能)が、発表する。 ● クイズ形式でもよい。 ● 他の国の児童は、質問できる。 ● 日本側は、一般的な日本の学校の紹介を行う。(学校単位ではないから)
持ち物紹介	14:15-14:30 (9分 各3分×3)	学校で使っている持ち物の紹介(文化紹介) (日本、マレーシア、スリランカの順) <各国担当者>	学校で日ごろ使っている物や道具をお互いに紹介する。 ● <u>ランドセルや教科書、ノート、美術作品など、お互いの文化の違いが伝わるもの</u> を紹介する。 ● 他の国の児童は、質問する。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">宗教と文化について</p>	<p>14:30-15:30 (60分) (各20分×3)</p>	<p>「<b>教えて！あなたのくらし</b>」 -宗教と生活の関わりを知ろう-</p> <p>というテーマについての意見交換 各国 <u>2つの事例</u>を紹介する。(日本、マレーシア、スリランカの順) &lt;各国担当者&gt;</p>	<p>「<b>教えて！あなたのくらし</b>」というテーマのもと、それぞれの地域の宗教と生活の関わりを具体的に2つ紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 事前にこのテーマについてワークシートに各自の意見をまとめておく。(事前準備)</li> <li>● 各国でまとめた <u>2つの事例</u>を紹介する。</li> <li>● <u>行事の中身を先に紹介し、その後、背景にある宗教的意味を説明する。</u></li> <li>● 写真や図、絵などの資料を見せながら分かりやすく説明する。</li> <li>● 事例を、<u>実演(踊り、歌、など)</u>してもよい。</li> <li>● 事例は英語で発表してもよいし、日本語で発表してもよい。(スタッフが通訳する。)</li> <li>● 他国の児童は、その事例について<u>質問や意見</u>を行う。</li> <li>● 全体司会者は、時間を見ながら適当なところで切り上げる。</li> </ul>
	<p>15:30-15:35 (3分)</p>	<p>休憩</p>	<p>3分間の休憩</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自由質問</p>	<p>15:35-15:55 (20分)</p>	<p>自由な質問 (自由に質問をしあう) &lt;参加者全員&gt;</p>	<p>お互いが興味あることについて、自由に質問を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>国を指定せず</u>、自由に質問を取る。</li> <li>● <u>質問内容は、特に制限しない。</u>(アニメ、アイドル、学校生活、休日の過ごし方、など)</li> <li>● 全体司会者は、時間を見ながら適当なところで切り上げる。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">いさつ 終わりのあ</p>	<p>15:58-16:00 (2分)</p>	<p>国際会議終了のあいさつ &lt;各国のリーダー&gt; <b>*ビデオ通話を終了</b></p>	<p>各国のリーダーが、会議終了のあいさつを行う。</p> <p>* <u>ビデオ通話を切断する。</u></p>
	<p>16:00-16:05 (3分)</p>	<p>休憩</p>	<p>3分間の休憩</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">とめ のま 全体</p>	<p>16:05-16:25 (20分)</p>	<p>本会議のまとめ <u>(国ごと別々に行う)</u></p>	<p>今日の会議について感想を述べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>ワークシート</u>に自分の感想をまとめ</li> </ul>

		感想の発表とワークシート記入 <参加者全員>	る。 ● 今回の会議について、 <u>参加者全員から</u> 意見や感想を取る。 ● スタッフや見学者からも意見や感想を取る。
	16:29-16:30 (1分)	国際会議終了あいさつ <全体司会者> <b>*会議全体を終了</b>	会議の終了を伝える。  <b>*国際会議全日程終了</b>

## 事前準備

- 各自、テーマ：「**教えて！あなたの暮らし**」-宗教と生活の関わりを知ろう-について考え、事前にワークシートに答えておく。
  - 日常の暮らしにある行事やお祭りや習慣などで、宗教的な背景（意味）があるものを考え、ワークシートに書き込む。
  - 出来るだけ具体的な例を考える。（例えば、エイサーなど）
  - 具体例は、いくつあってもよい。
- 各自が考えた具体例から、「**日本側の事例**」として二つにまとめる。
  - 各自が考えた具体例を発表する。（全員）
  - それらの具体例を話し合い、テーマに適したものを、二つを選ぶ。
  - 二つの具体例を発表するために資料を作成する。
  - 二つの具体例が、どのような宗教的意味があるかを説明できるように十分調べておく。
  - 分かりやすくするため、図や写真、ビデオ、手書きの絵なども利用する。
  - 具体例を実演してもよい。（踊り、歌、など）
  - 通訳を考え、資料は出来るだけ簡潔にまとめる。
  - 通訳等も考え、それぞれ3分程度にまとめる。
- 日本の学校の紹介資料を作成する。
  - 日本の学校を紹介する。参加者の学校が違うので、どのように紹介するかを話し合う。（発表者の学校の紹介、一般的日本の学校の紹介、など）
  - 写真や図を使って資料を作成する。
  - 2分弱の発表にまとめる。パネル5枚以内。（A3もしくはA4）
  - 完成した資料は、先に他の参加国とファイルを共有する。（会議の時間を節約するため）
- 各自、学校で日ごろ使っている持ち物を準備しておく。
  - お互いの文化の違いを紹介するという意味で、学校で日ごろ使っている持ち物を紹介しあう。
  - 例：ランドセル、教科書、手書きのノート、筆箱の中、絵画作品、など。
  - どれを紹介するかを、みんなで話し合う。
  - 会議当日に、必要な道具を忘れずに持ってくる。

5. それぞれの発表役を決める。
  - 学校紹介：複数名も可能。
  - 持ち物紹介：複数名
  - テーマに沿った具体例 1：複数名も可能。
  - テーマに沿った具体例 2：複数名も可能。
6. 通訳は、コミュニケーションの流れを理解しておく。
  - 全員が同じスクリーンに登場し、音声も全員に聞こえるので、通訳は各国順番に行っていく必要がある。

### 交流中の約束事

1. 相手の発表には、必ず質問や意見を返す。
2. 相手の意見や質問を理解しようと努める。質問や意見ではない、安易な価値判断や非難は行わない。（悪い例：「それは間違い！」「それはおかしい！」）

### 意思疎通の流れ

1. 意思疎通の流れは以下の通り。
  - 「発表者（母語）」→「通訳（英語）」→<インターネット>→
    - 「通訳 1（母語 1）」→「相手児童」
    - 「通訳 2（母語 2）」→「相手児童」
  - 「質問者（母語）」→「通訳（英語）」→<インターネット>→
    - 「通訳 1（母語 1）」→「相手児童」
    - 「通訳 2（母語 2）」→「相手児童」

### 補 足

1. 参加者は、英語の能力によって選別されることはない。 会議のテーマに関する考えや積極的に参加する意思をもとに選考する。

### 国際会議開催までの日程

募集期間： ～6月21日（金）

\*参加予定者は、研修前にワークシートに記入しておく。

\*ボランティアスタッフの募集も含む。

事前研修：

1. 第1回 6月22日（土）13:00 – 15:30 読谷村文化センター内
  - 参加者自己紹介
  - 各自の意見（具体例）発表
  - 意見（具体例）のまとめと具体例 2 例の選択
  - 役割分担（資料作成、発表）
  - 発表資料作成（学校紹介、事例紹介）

- 相手校や地域の紹介
2. 第2回 6月30日(日) 12:00 – 14:00 読谷村文化センター内
- 発表資料完成
  - 発表練習

\*事前研修前に食事を済ませておく。\*

\*事前研修後、休憩を取って、そのまま本会議となる。\*

本会議：6月30日(日) 14:00 – 16:00 読谷村文化センター内

### 寄付についてのご案内

NPO 法人スプラタルカは、会員の皆様の会費及び支援者の皆様の寄付を中心として運営しております。

プログラムに参加されたうえで、その価値や意義をご理解いただけた場合は、次回の参加者に向けたご支援のほどよろしくお願い致します。

### 問い合わせ先

特定非営利活動法人 スプラタルカ

〒904-0305 沖縄県読谷村都屋 369 代表：本田勝也

info@supratarka.org

<https://www.supratarka.org/>

<https://www.facebook.com/supratarka/>

